

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名：WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	186名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾) WAIDA Europe GmbH(ドイツ)

(注) 和井田友嘉精機股份有限公司は2024年4月1日付けで和井田精機股份有限公司に社名変更しております。

役員 (2024年6月25日現在)

代表取締役会長	和井田 光 生
代表取締役社長	森 下 博
取締役副会長	久 保 朝 義
常務取締役	比 良 謙 吾
常務取締役	疋 田 寿 久
取締役(監査等委員)	松 村 忠 典
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏および山下英一氏は、社外取締役であります。両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況 (2024年3月31日現在)

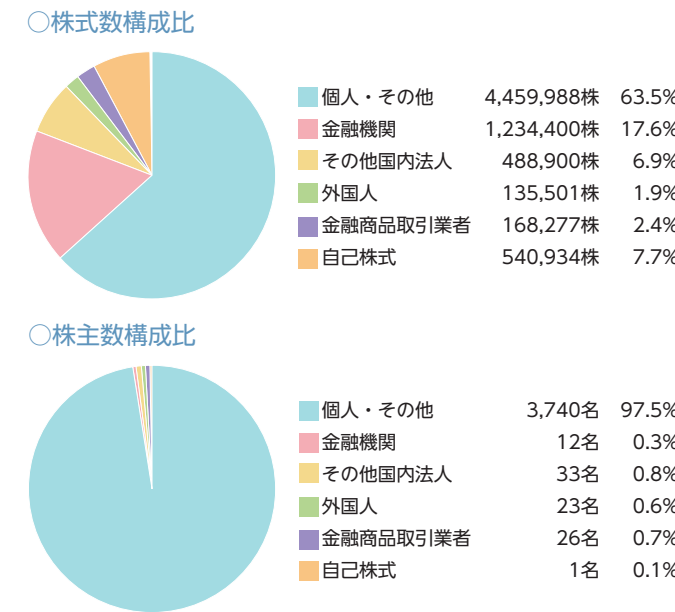
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式540,934株を含む)
株主数	3,835名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	437,777	6.74
和井田 倅生	326,060	5.02
株式会社十六銀行	321,300	4.95
株式会社三菱UFJ銀行	256,000	3.94
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	214,400	3.30
和井田 叔子	196,800	3.03
和井田製作所従業員持株会	187,816	2.89
福井 夕起也	121,500	1.87
和井田 克子	121,200	1.86
和井田 雅生	120,800	1.86

(注) 持株比率については、自己株式(540,934株)を控除して算出しております。

株式分布状況 (2024年3月31日現在)



和井田製作所 本社・本社工場(岐阜県高山市)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
 第95期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の当社グループは、国内市場や中国市場での販売が伸び悩み中、欧米市場を中心に積極的に営業展開を進め前期に近い水準の売上を維持いたしました。第96期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)は引き続き市況の見通しが難しい状況ですが、新製品や展示会等の積極展開により受注の確保に努めてまいります。
 収益構造につきましては、設備投資等を活発化させていることにより変化が生じております。この変化に関しましては「中長期ビジョンに基づく成長モデルおよび投資戦略」として今回記載させていただきました。
 株主の皆様におかれましては、引き続きご支援の程何卒お願い申し上げます。

代表取締役社長 森下 博

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第95期 実績	7,538百万円 前年同期比 0.6%減	969百万円 前年同期比 16.1%減	1,090百万円 前年同期比 9.9%減	727百万円 前年同期比 16.2%減
第96期 通期業績予想	7,171百万円 前年同期比 4.9%減	467百万円 前年同期比 51.8%減	522百万円 前年同期比 52.1%減	367百万円 前年同期比 49.5%減



第95期の概要

第95期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の当社グループは、重点施策である欧米地域での営業展開を積極的に進めた結果、欧米等の売上高は過去最高額となる1,800百万円を計上しました。一方で国内や中国市場では年度を通じて停滞感が続き、売上高全体としては前期比減となりました。

また、生産設備の自動化や次世代製品の開発に向けた投資拡大を継続しており、その費用が増加しております。

この結果、売上高は7,538百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は969百万円(営業利益率12.9%、前年同期比16.1%減)となりました。

第96期の見通し

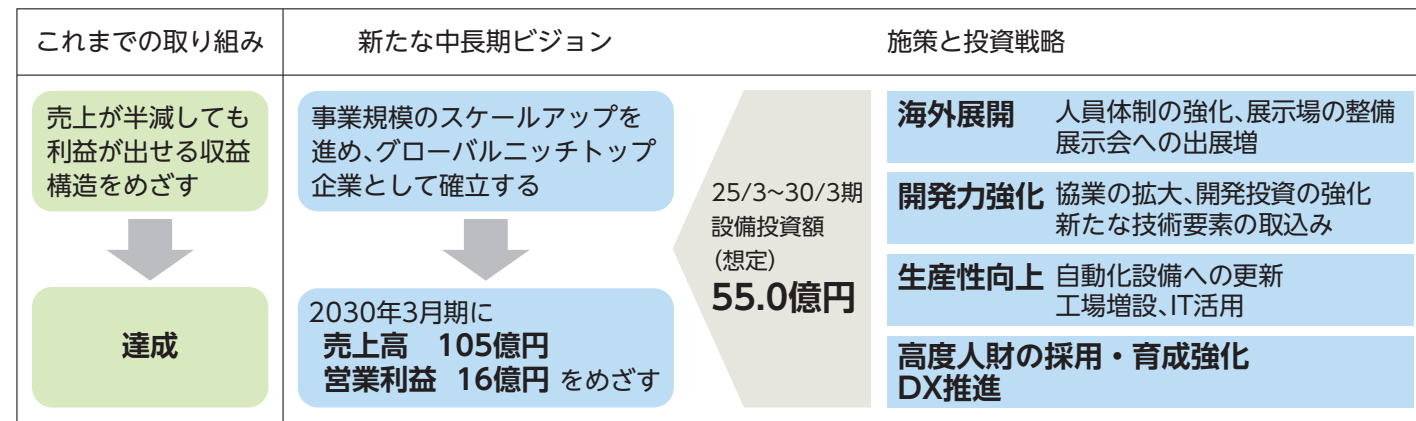
第96期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）については、国際紛争の長期化等により設備投資に慎重な姿勢が続いており、新製品の市場投入など需要喚起に取り組んでまいります。利益については、中長期視点で各種の設備投資を継続しており、前期比減となる見通しです。

以上をふまえ、第96期の通期業績見通しは、売上高7,171百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益467百万円(前年同期比51.8%減)になるものと見通しております。配当金は、第96期中間配当金を1株につき16円、第96期期末配当金を1株につき16円とし、年間では1株につき32円を予定しております。

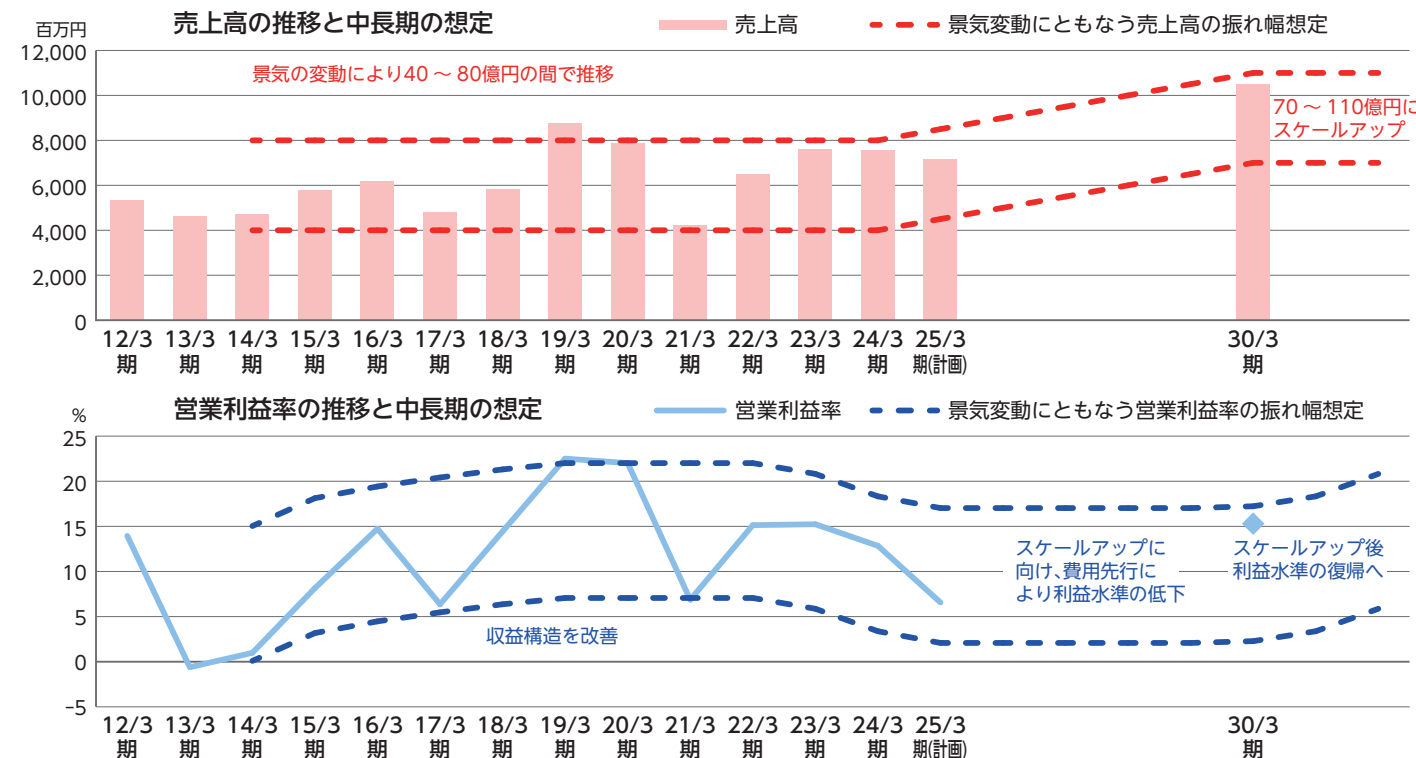
中長期ビジョンに基づく成長モデルおよび投資戦略

当社はリーマンショックの経験をふまえ、「売上が半減しても利益の出せる収益構造」を目標に長年取り組んでまいりました。既に2020年3月期からコロナ禍に至る過程で収益構造の改善は目標を達成しておりますが、一方で売上高は景気変動により概ね40億円から80億円の範囲で推移しており、事業規模の拡大が課題でありました。

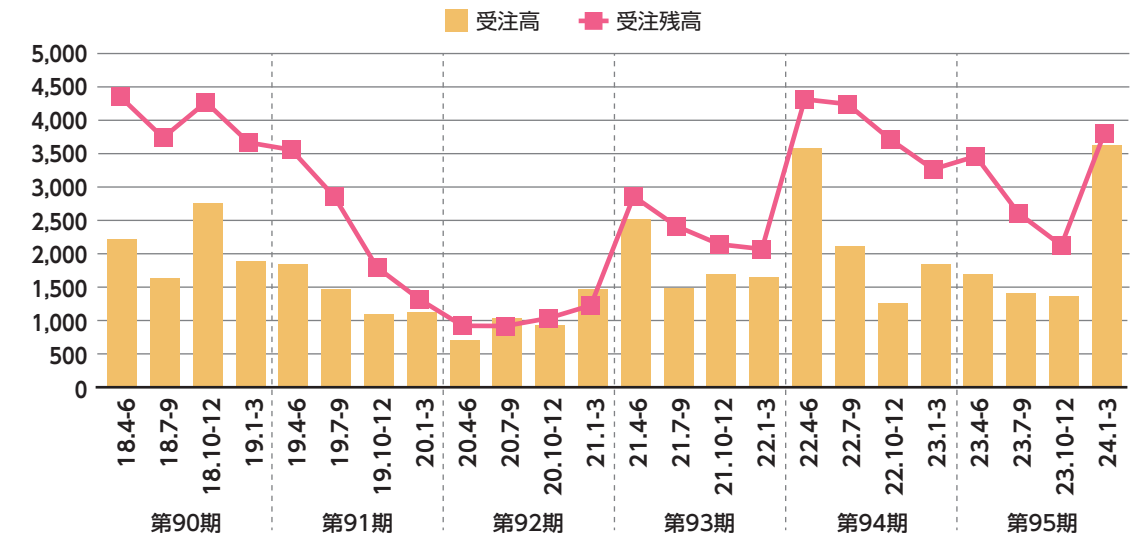
そこで、中長期ビジョンを策定し、従来の収益改善の取り組みを継続しつつ、事業規模を70億円から110億円のスケールへ拡大するための各種施策に着手しております。戦略的に設備投資等を進めることから、費用が先行し一時的に利益水準は下がる見通しですが、中長期ビジョンの達成により企業価値の向上をめざしてまいります。



中長期ビジョンに基づく成長モデル

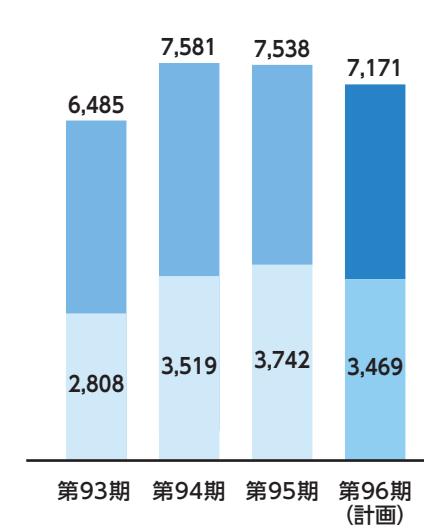


受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



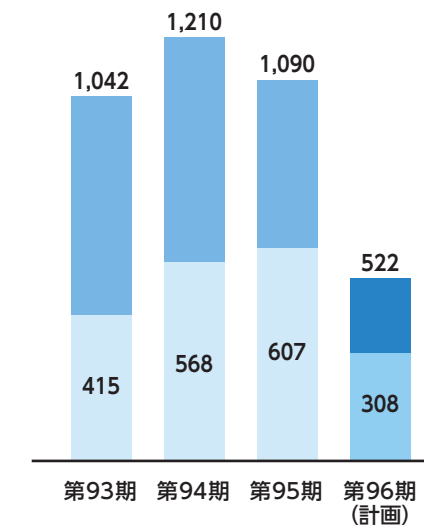
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



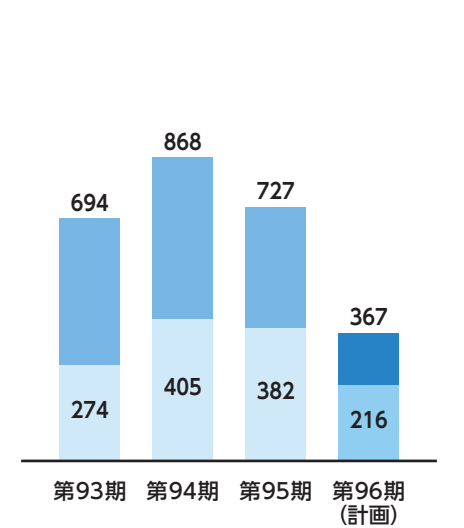
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



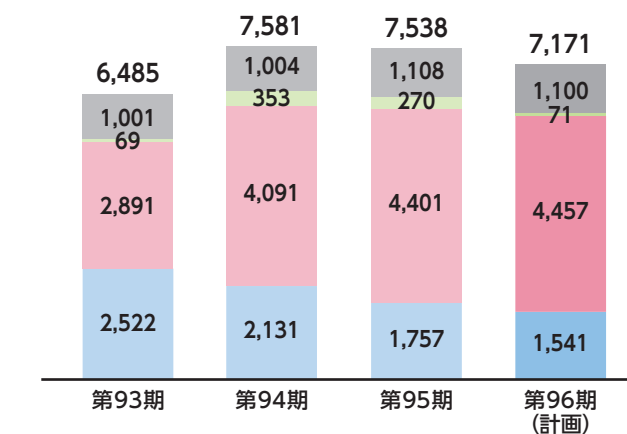
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



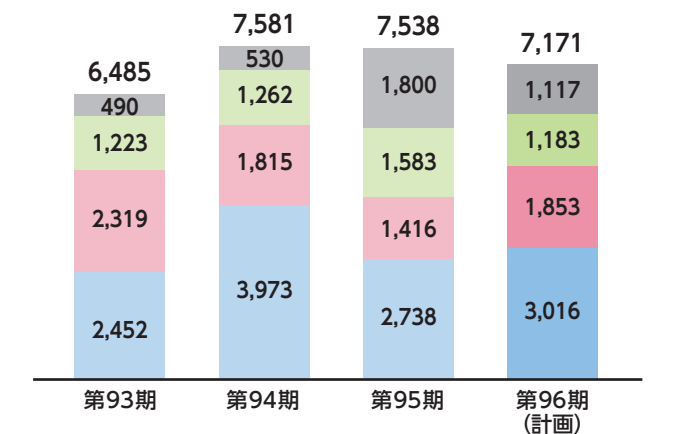
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ 中国
■ アジア地域(中国を除く) ■ 欧米等



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。